

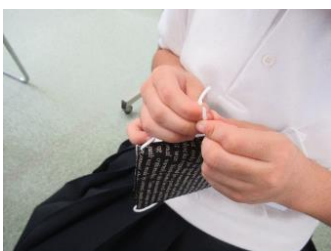
指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ <u>中学校</u>	学 年	<u>1・2・3</u> ・4・5・6年
指導場面	<u>授業</u> ・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・ <u>知的障害</u> ・肢体不自由・病弱・言語障害・ <u>自閉症・情緒障害</u> ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	生活		
タイトル	自分のマスクを作ってみよう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	・外出の際、マスクは必要不可欠なものになったが、なかなか慣れず不快に感じている。 ・ソーシャルディスタンスがとりにくく、話すときの距離がどうしても近くなる。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	・気に入った布で自分のマスクを作ること、マスクをつけることに対する抵抗感を軽減する。 ・作業をしながら、マスクの必要性について理解する。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	ソーシャルディスタンスをとりにくい生徒も、マスクがあればある程度大きな声でしゃべっても唾液の飛沫が直接相手に届く可能性が低くなる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・自分のお気に入りの布を選ぶ。
- ・布を三つ折りにし、それを半分に折りアイロンをかける。
- ・合わせたところを縦に一本手縫いする。
- ・裏返してひもを通す。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	生活・自立の授業		
タイトル	自分のマスクを作ろう。マスクをしまうケースも作ろう。		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	マスクをつけ忘れることがある。給食時や、体育の際マスクを外した後、自分のできちんと管理ができない。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	毎日使用する自分用のマスクを自作することで、大切に使い、自分で洗う習慣づけをする。 外した後のマスクをきちんと保管しておく。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	マスクの装着により、飛沫感染を防ぐ。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

※マスクを作ろう

- ・出来上がり見本を見る。
- ・布の柄を選ぶ。
- ・型紙の通り、布に線を引く。線の通りに裁断する。
- ・ミシンで直線を縫う。
- ・ノーズワイヤーを入れる。
- ・プリーツの部分の端を布接着用ボンドで止める。
そこをミシンで縫う。(プリーツが広がらないようにミシンで縫うため。)
- ・ゴムを通しの部分を、布接着用ボンドで止める。
(プリーツの上にさらに布を重ねるため、厚みが増しミシンで縫うことが難しいから。)



※マスクケースを作ろう

- ・出来上がり見本を見る。
- ・型紙の通り、布に線を引く。線の通りに裁断する。
- ・表布と裏布の端を、軽く布ボンドで止める。
- ・2枚合わせて、ミシンで直線を縫う。
- ・スナップやボタンをつけて止める。



指導事例

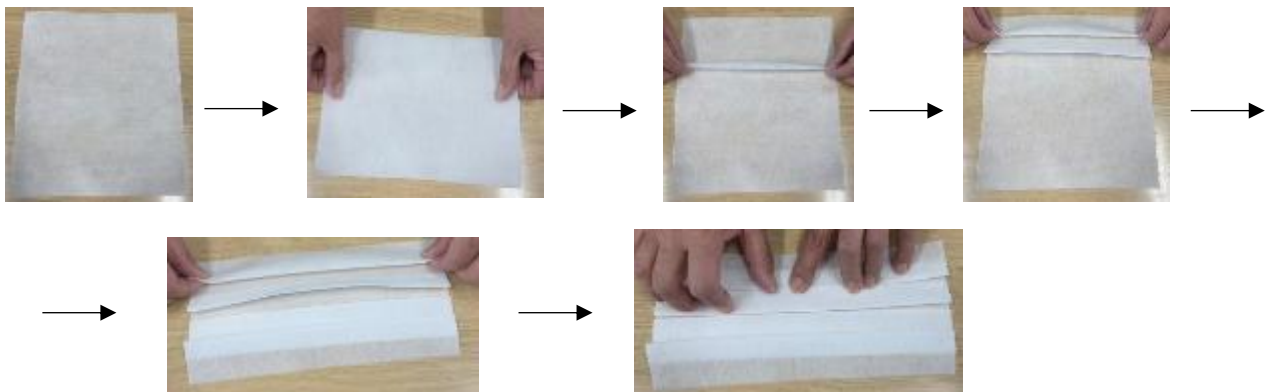
※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	日常生活		
タイトル	身近なものでマスクを作ろう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	人との距離の取り方が難しく、大きな声で話してしまうことが多い		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	過剰に気にすることなく、友人とのコミュニケーションをとることができるようになる。また家でも簡単に作ることができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	マスクをすることによって、唾液の飛沫を防ぐことができる		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

①スーパーやホームセンター等に売っている、キッチンペーパー、ホッチキス、伸び縮みするゴム（輪ゴムでも可）を用意する。

②キッチンペーパーを半分に折り、その線に合わせて左右どちらも2回ほど折る



③端を折り、テープで止めて、その間にゴムを通し、ホッチキスで止める



④完成

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ <u>中学校</u>	学 年	<u>1・2</u> ・3・4・5・6年
指導場面	授業・ <u>学級活動</u> ・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ <u>自閉症</u> ・ <u>情緒障害</u> ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	自立活動		
タイトル	感染予防のためにできること		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	全体指導の中では指示が通りにくく、細かい作業が苦手である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	感染拡大予防に必要なことを学び、自分でできることを考える。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	社会的距離を確認、正しい手洗いを体験した後、自分でマスクを作ってみる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- 映像を見て、感染予防のためにできることを考える。
「3密」「ソーシャルディスタンス」「新しい生活様式」について学ぶ。
- 映像を流しながら、一緒に“正しい手洗い”をやってみる。
- ハンカチで簡易マスクを作る。
 - ・ハンカチを折り、ゴムを通して簡易マスクを作る。
 - ・マスクをつけてみる。
- 布マスクを自分で作る。
 - ・マスクの型紙を作る。
 - ・布に型どりをする。
 - ・表地、裏地をミシンまたは手で縫い、ゴムを通して完成！つけてみる。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	作業学習		
タイトル	夏用マイマスク作り		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	マスク内が蒸れてくると、はずしてしまう。 手先が不器用である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	マスクを外さず、快適に過ごすことができる。 縫わずに、お気に入りのマスクを作ることができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	飛沫感染を防ぐことができる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

・用意するもの ・布（25cm四方、2枚） 表用・・・着なくなった夏用Tシャツかハンカチ、古布（綿がよい） 裏用・・・さらし用布 ・マスク用ゴム（30cm×2本） ・布用接着剤 ・布用ハサミ <手順> ① 型紙に合わせて、布（表用、裏用）を切る。 ② 布の裏面どうしを貼り合わせる。（ふちのみ） ③ 中心線を上下6cmずつカットし、重ね合わせて貼ることにより、立体的にする。 ④ 上下のふちを折って、端の始末をする。 ⑤ ゴムを通す所を輪っかにし、ゴムをつける。
--